

令和2年度 第1回別府市未来教育プロジェクト会議

議事録概要版

-
- ◇日 時 令和2年11月16日(月) 15:30~17:00
◇場 所 別府市役所 レセプションホール
◇出席委員 (11名) 八塚委員 勝河委員 高部委員 村上委員 平岡委員 大鶴委員
古田委員 藤田委員 安倍委員 小谷委員 甲斐委員
◇事務局 (9名) 稲尾教育部長(委員長) 柏木教育政策課次長兼課長
北村学校教育課長 吉田教育政策課参事 志賀学校教育課参事
古本教育政策課課長補佐 田中学校教育課課長補佐 加藤 渡邊
◇傍聴者 17名 報道関係3社
-

◇議事内容

- 1 教育部長(委員長)挨拶
- 2 講演「GIGAスクール構想について」株式会社Doit 代表取締役 土井 敏裕 氏
- 3 意見交流
- 4 諸連絡

1 教育部長(委員長)挨拶

本会議の目的は2点。1点目は、タブレットをどのように活用していくかということ
を委員の皆様とさまざまなアイデアを出し合っていく場とすることである。

2点目は、モデル事業をもとにして、これから別府市全体の未来の教育はどうある
べきか、別府市独自のビジョンを共に考えていく場とすることである。

2 土井氏の講演 別紙資料

3 意見交流

委員長：一人一台端末の学校や家庭での利活用の仕方について、委員の方々に自由に意見交流をしていただく。学校での利用はどうか。

委員：これまで授業でタブレット端末を使ってきて感じていることは、先生ができることからタブレットを使ってみるということだ。例えば算数の授業では、子どものノートを写真に撮りテレビに映し出し、その映像を用いて説明をすることで、その子の考え方をクラスみんなで共有することができた。

委員：県内の高校と協働し、タブレット端末の教育での活用を探っている。タブレット端末はすぐに調べることができるという点から問題解決を図るためのツールとして有効である。

アドバイザー：別府市内の小中学校の児童生徒に「こんなタブレット端末の活用方法があるとよい」というような意見はあるか？

委員：課題解決型の学習で、子どもたちが学習中に調べたいと思ったその時にタブレット端末を使うと、すぐに調べることができ有効である。また、調べたことを子どもたちがグループ内で共有したり、話し合ったりするきっかけにもなる。

委員：不登校の子どもたちや特別な支援が必要な子どもたちにこそ有効ではないか。一人一台のタブレット端末があるからこそ、それぞれの子どもたちに対して、学習の個別最適化が可能になる。

委員：一人も取り残さないための有効な支援の一つが、一人一台のタブレット端末の活用になると思う。今後、家に持ち帰るためのルールを定める必要はあるが、学びの足あとを家庭で一緒に見ることで、学校での自分の子どもの様子がわかると思う。体育や音楽など、実技系の教科などの学びの足あとをぜひ見てみたい。

委員：例えば別府市は観光の街なので、別府駅などでタブレット端末を持つ子どもたちが、外国人や観光客相手に観光案内をするということもできるかもしれない。翻訳アプリを使えば、様々な国籍の観光客に対して別府の魅力を伝えるツアーガイドのような活動ができる。

委員：「タブレット端末を使う主語は子どもたち」という考え方で先生方をサポートする必要があると思う。多忙な上、先生方がこれまで以上に詰め込むようにタブレット端末の研修をやりすぎてしまうのはどうかと思う。タブレット端末は子どもたちが使うものであり、その手伝いを先生方がするというスタンスで良いのではないかと考えている。子どもたちと先生がそのような思いを持ち、これから一緒に使い方を考えていけば良いのではないか。

委員：これから子どもたち1人ひとりが1台ずつのタブレット端末を使うにあたり、インターネットに関わる犯罪や事件の加害者または被害者にならないために、ということがセーフでどういうことはアウトになるのかを、先生や保護者といった大人達と子どもとで一緒に考えていきたい。

委員：導入当初からタブレット端末を使わないといけない、先生が無理をしてまでデジタルのものを「必ず授業に使わなければならない」ということではない。

委員：これまでのアナログな教育もとても大切である。先生方が授業の目的やねらいに応じて、紙などのアナログなものの方が目の前の子どもたちに学力が付くと思えばアナログの教育方法でよい。

委員：授業のねらいに応じて、デジタルとアナログを使い分けることが大切。

アドバイザー：委員の皆様にはタブレット端末の学校や家庭での活用方法、アナログとデジタルの使い分けなど、別府市が行う学校教育のICT化のイメージが少し見えてきたように思う。第2回の未来教育プロジェクト会議では、モデル校で実際に子どもたちや先生がタブレット端末を導入している様子や、これからの別府市の学校教育のICT化について、意見を聞かせて欲しい。

事務局：委員からの意見は、別府市の学校教育ICT活用推進計画（名称仮）へ反映していきたい。